

学校だより



平成28年6月30日

横浜市立二谷小学校
校長 渡邊 文子

雨の日に

学校長 渡邊文子

その日は、あいにくの雨でした。

小学校生活最後の社会科見学でしたが、雨は昼になってもやまず、6年生の子どもたちは、見学場所からバスの駐車場まで傘をさして歩かなければなりませんでした。乗車口の前で運転手さんや担任が傘をさして立ち、子どもたちはそこで傘を急いですぼめてバスに乗り込みます。

「乗る前に雨水を払って。」

という担任の声を聞いて、子どもたちは、傘をさっと振って乗車していきます。

すると、友達に続いて歩いてきた女の子が、ドアの近くで、急にくるとバスに背を向けました。そして、傘の水を払うと、またバスの方に向き直って急いで乗車していったのです。周囲の人に雨水がかからないように、との心遣いだとすぐに気づきました。一瞬のことでした。ご両親に教えていただいたのでしょうか。誰かの仕草を見て真似たのでしょうか。さりげない美しい仕草に、私は感心してしまいました。

「あっ、ここで雨水を払ったら、近くの人にかかってしまう。」と咄嗟に状況を判断し、行動に移せる力。その根っこには、人への気遣いや確かな想像力があります。雨は残念でしたが、そのおかげでこんなすてきな姿を見ることができました。二谷小学校を卒業した子どもの思い出です。

雨の日、図書室は大賑わいになります。いつもは外で汗をびっしょりかいて遊んでいる子も、思い思いに本を手にとって、本の世界にひたって楽しんでいます。まさしく晴耕雨読です。

梅雨明けまでのしばらくの間、雨の日の子どもたちのすてきな姿をたくさん発見したいと思います。

今月は、土曜参観を予定しています。当日は、神奈川県警の方に「携帯・スマホ」についてご講演いただきます。平成26年度内閣府の調査によれば、小学生の4人に一人がスマホか携帯を利用しているようです。(全国の小学生のスマホ利用率～11.7%、スマホを除く携帯の利用率～10.8%)是非、ご参加いただき、サイバー社会で子どもたちを守るための参考にしてください。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



子どもたちの育てているゴーヤの花

